変更後の認定事業適応計画の概要の公表

１．変更認定をした日付

令和５年２月 24 日

２．変更後の認定事業適応事業者の名称

日本スピンドル製造株式会社

３．変更後の認定事業適応計画の内容

（１）　事業適応に係る事業の目標

当社は、気候変動問題への対応に価値を見出す傾向が国際的に加速している社会情勢等を鑑み、製造時の消費電力に再生可能エネルギーを使用していくことで CO_2 排出量を削減し、付加価値の創出と環境への負荷低減を両立させていくことを目標とします。

（２）　その事業の生産性を相当程度向上させること又はその生産し、若しくは販売する商品若しくは提供する役務に係る新たな需要を相当程度開拓することを示す目標

炭素生産性を 77.0%向上することを目標とします。

（３）　財務内容の健全性の向上を示す目標

2024 年度（計画終了年度）に経常利益を計上する事を目標とします。

（４）　事業適応の類型

③エネルギー利用環境負荷低減事業適応

（５）　計画の対象となる事業（日本標準産業分類における中分類名称及びその分類コード）

生産用機械器具製造業（26）

（選定の理由）

計画の対象となる事業は、主に自動車部品製造機械を製造するものであるためです。

（６）　事業適応の具体的内容

当社は 2022 年度に決算期を３月から 12 月に変更したため、2022 年度を９カ月間の計画に変更しました。また、当初の事業適応計画期間の終了時期の 2024 年３月は 2024 年 12 月期に属するため事業適応計画期間を 2022 年２月から 2024 年 12 月までに変更しました。

2021 年度は、当社の尼崎の本社工場において、既に導入した LED 照明と５０kw の太陽光発電の継続的使用による CO_2 排出量の削減に取り組みましたが、翌期売上品の生産増加に伴うエネルギー使用量の増加により、基準年度と比較し炭素生産性が 8.6%減少しまし

た。なお、太陽光発電の自家消費により炭素生産性は 2.0%向上しました。2022 年度の計画では、空調設備を製造する 8 工場内の照明を蛍光灯・水銀灯から LED 照明に更新し、また、製造機械の試験をする 14 工場西の古い空調機を更新することにより、付加価値の創出と合わせて 16.8%の炭素生産性の向上を見込みます。

2023 年度の計画では、引き続き取組を進めることにより、55.5%の炭素生産性の向上を見込みます。

2024 年度の計画では、製造機械組み立てをする 2 工場（新工場棟）の屋根に 200kw の太陽光発電を導入し、これにより、目標年度である 2024 年度に我が社全体の炭素生産性を上記の設備投資と付加価値の創出を合わせて 77.0%の向上を見込みます。

（７）　事業適応の開始時期及び終了時期

開始時期 2022 年 2 月、終了時期 2024 年 12 月